

昭和53年度第1回シグマ委運営委員会議事録

日 時 昭和53年5月2日(火) 13:00～17:00
場 所 原研本部第35会議室
出席者 塚田(主査, 原研), 中嶋(法大), 松延(住友原工), 大竹
(動燃), 久武(東工大), 関(MAPI), 飯島(NAIG), 更
田, 五十嵐, 菊池(康), 桂木(原研)
オブザーバ: 浅見(哲)(原研)

配布資料

1. 前回議事録
2. 昭和53年度委員名簿(案)
3. 核データセンター54年度概算要求
4. NEA 核データ委員会第20回会合
5. Report to the NEA Nuclear Data Committee, April 1978
6. Ref. 1C
7. 53年度旅費使用計画(案)
8. Cross Section Evaluation Working Group
9. Tentative List of Topics for 1979 International Conference on Nuclear Cross Sections and Technology

議 事

1. 資料(1)により前回議事録確認
2. 53年度委員名簿確認

資料(2)にもとづいて53年度本委員会委員および専門委員の名簿案について更田委員より説明が行われ, 気付いたことや意見等があったら至急事務局へ連絡して欲しい旨の要請があった。中嶋委員より熱中性子文献グループに法大工の栗山一男氏を紹介したいとの要望があり, グループリーダーの

坂本委員との話し合いの上で決めることにした。また、FP炉定数WGはFP核データWGに吸収させ核データ専門部会に移し、メンバーも移動させることにした。その他については原案了承された。なお、燃料サイクル核データWGについて多くの意見が出され、その結果、梅沢委員にグループリーダーを委嘱し、梅沢委員を中心にグループの正式名称をも含めて検討してもらうことにした。

3. 54年度概算要求

資料(3)にもとづき更田委員より核データセンターの54年度概算要求の概要について説明が行われた。

4. 第20回 NEANDC 会合報告

塚田主査より第20回 NEANDC 会合(78-4/3~7)について、資料(4)(5)を用いて報告が行われた。

5. 53年度活動計画

資料(7)の53年度シグマ委員会の旅費使用計画案が事務局より説明があり、了承された。また、9月頃この計画の再調整を行うことにした。

6. 核データ研究会の計画

更田委員より、54年度の研究会は他の会合との関係で無理であるため53年度に行いたい旨の説明があり、討議を行った。主な意見として、今まで出ていた案は「MeV領域の核データ」であったこと、53年度末に行うのは JENDL-2 の作業との関連で困ること、54年度の方向付けの観点からやったらどうか等であった。出た意見をもとにして事務局で検討してみることにした。

7. Joint IFRC/INDC Subcommittee 会合等の報告

更田委員より、4月14日の IFRC/INDC Joint Subcommittee 会合および4月17~19日、4月20-21日の2つの Actinide 核データ関係の Coordination Meeting についての報告が行われた(詳細は省略)。

8. その他

1) BNL で行われる Nuclear Data Problems for Thermal Reactor

Applications の会合に、原研から BNL に留学中の中原氏に出席してもら
うよう Pearlstein 氏宛に手紙を出したことが報告された。

- 2) 更田委員より、資料(9)の Knoxville Conf の粗案について意見および
invited speaker の推せん等があったら出して欲しいとの要請があった。
- 3) INIS にデータの有無の flag を立てる案のあることが紹介された。
user には便利になるとの意見に対し、CINDA の立場からは明確でない
information は noise になって却って困まるとの意見が出た。
- 4) 次の本委員会は 8 月頃に予定することにした。

次回は 6 月 16 日(金) 東海の予定